

2014年12月5日

ソチ冬季オリンピック・スピードスケート競技に出場した 日本電産サンキョー社員が地元スケート教室イベントで指導

11月22日、長野県岡谷市の屋外スケートリンク「やまびこ国際スケートセンター」で開業20周年の記念式典とスケート教室イベントが開催され、日本電産サンキョーの上條有司社員が講師として参加しました。

日本電産サンキョースケート部所属選手として2014年2月のソチ冬季オリンピック・スピードスケート男子500メートル競技に出場した上條社員は、まず記念式典で模範滑走を披露、続いて行われたスケート教室で講師を務めました。

スケート教室は初心者向けと選手向けの2種類が実施され、初心者向けの教室では、主に小学生や幼児及び保護者の方を対象に、転倒時に頭を守る転び方や、足を八の字にして前進する滑り方を教えました。続いて行われた選手向けの教室では、小・中学生に向けてスタートの構え方やダッシュの極意などを指導しました。

「多くの方がスケートを楽しんでおられるけれども、スケートの楽しさを伝えてもっとスケート人口のすそ野を広げていきたい。そのためにこれからも自分で出来ることで力になりたいと思います。」と話す上條社員。

日本電産サンキョーは、世界トップレベルのスピードスケート選手を輩出し皆様に大きな喜びと感動をお届けするよう努め、また将来のメダリストの育成を行う活動も続けていきたいと考えています。

